

環境について一緒に考える

地球環境問題を解決するには、私たち一人ひとりが日常生活や事業活動を見直すことが必要だと言われています。
講演会、イベント、環境学習を通じて環境を守るお手伝いをします。



■ 地球温暖化に関する講座



■ エコドライブ講習会

普及啓発事業

- 鹿児島県地球温暖化防止活動推進センター事務局
- かごしまエコファンド事務局
- エコアクション21地域事務局かごしま
- 講演会・研修会の開催
- コンテスト・イベント開催
- 環境教育用教材等の貸出
- 環境情報提供
- 環境学習の場への講師派遣



本部・試験研究施設

〈総務部〉

- 【 総務課 】 ☎ (099)262-0143 FAX (099)262-0106
 【 渉外課 】 ☎ (099)262-0110 FAX (099)262-5030
 ☎ (099)262-0193
 (県地球温暖化防止活動推進センター)
 【環境企画・普及課】 ☎ (099)284-6013 FAX (099)284-6257

〈環境調査部〉

- 【調査第一課】 ☎ (099)262-5221 FAX (099)262-1705
 【調査第二課】 同上
 【環境分析課】 ☎ (099)262-6059 FAX (099)262-0113
 【環境生物課】 ☎ (099)262-5369 FAX (099)262-6471

〒891-0132 鹿児島市七ツ島一丁目1番地5



しなやかな目で環境を科学する信頼と技術の
一般財団法人
鹿児島県環境技術協会
KAGOSHIMA ENVIRONMENTAL RESEARCH AND SERVICE

人と地球の未来のために



一般財団法人 鹿児島県環境技術協会

理事長 宮廻 甫允

Profile
みやさこ としみつ

鹿児島大学名誉教授
昭和54年より鹿児島大学法文学部に33年間勤務
経営学（経営管理論）
国、県、市等の各種委員会で委員長等を歴任
昭和21年生まれ

ご挨拶

昭和48年（1973年）5月、鹿児島県・市町村・商工三団体のご支援をいただき、環境に係る分析機関として、財団法人鹿児島県公害防止協会が設立されました。

その後、平成3年4月に、財団法人鹿児島県環境技術協会、平成25年4月に、一般財団法人鹿児島県環境技術協会と名称を変更し、令和5年5月に創立50周年を迎えました。

環境分析のほか、社会のニーズに応えるべく、環境調査・生物調査・普及啓発・地球温暖化防止活動などに取り組んでまいりました。

この間、行政や関係機関、お客様の皆様には、協会の事業に、温かいご支援をいただいております。誠にありがとうございます。

さて、近年の環境を取り巻く課題は、身近な地域の環境問題から、地球温暖化など世界規模の問題まで多岐にわたっています。

このような中、脱炭素、大気・水・土壌環境の保全及び生物多様性の保全などの取組を、あらゆる主体が持続可能な社会の実現のために積極的に推進していく必要があります。

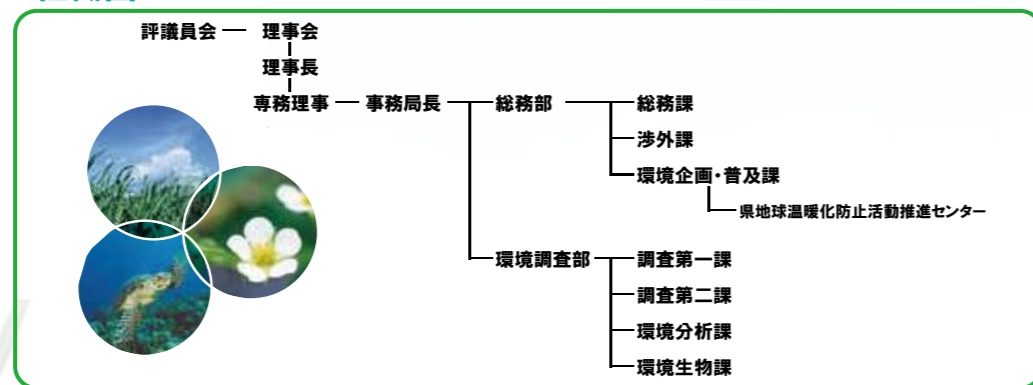
また、本県には、平成5年に屋久島が、令和3年に奄美大島・徳之島が世界自然遺産に登録され、2つの世界自然遺産を有する全国唯一の県となりました。自然環境の保全と利用の両立等の取組により、この素晴らしい自然の価値を将来に引き継いでいくことが求められています。

当協会は、これからも環境問題に総合的に対処できる県内唯一の公益的法人として、信頼と技術の向上に努め、地域の良好な環境の保全及び産業が発展する活力ある地域社会づくりに貢献してまいります。

今後とも、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

組織図

（令和6年4月）



目的

この法人は、環境に係る調査、測定分析、技術指導、普及啓発活動等を行い、もって地域の良好な環境の保全に寄与することを目的とする。
（一般財団法人鹿児島県環境技術協会 定款）

出捐団体

鹿児島県、県下全市町村、県内商工三団体

沿革

- 昭和48年5月1日 鹿児島県知事設立許可
財団法人鹿児島県公害防止協会として業務開始
- 昭和58年4月1日 七ツ島事務所（試験研究施設）完成
- 平成 3年4月1日 財団法人鹿児島県環境技術協会に名称変更
- 平成 6年4月1日 真砂事務所（協会本部）完成
- 平成11年4月1日 七ツ島事務所事務棟完成
- 平成15年4月1日 かごしま県民交流センター「生命と環境の学習館」の運営
- 平成16年4月1日 七ツ島事務所に本部施設増設・事務所統合
- 平成16年6月1日 「鹿児島県地球温暖化防止活動推進センター」に指定
- 平成19年5月1日 「エコアクション21地域事務局かごしま」に指定
- 平成25年4月1日 公益法人制度改革に基づき、「一般財団法人鹿児島県環境技術協会」へ移行

主な加盟団体

日本環境測定分析協会
におい・かおり環境協会
日本分析化学会
日本自然保護協会
全国給水衛生検査協会

指定・登録・認証等 ※の年月は初回の登録等

- 計量証明事業登録
濃度 鹿児島県登録第29号（平成5年11月）※昭和51年4月
音圧レベル 鹿児島県登録第53号（平成5年11月）※昭和56年4月
振動加速度レベル 鹿児島県登録第75号（平成6年4月）
- 水道法水質検査登録機関登録
登録番号第7号（平成31年3月）※昭和54年2月
- 温泉法登録分析機関登録
鹿児島県第2号（平成14年4月）※昭和59年1月
- 土壌汚染対策法指定調査機関指定
指定番号環2003-7-2031(令和2年4月) ※平成15年1月
- 品質保証国際規格ISO9001 認証登録
ISO9001：14QR-1747（平成13年5月）
（登録範囲：環境に関する測定・分析業務）
- 環境マネジメントシステムエコアクション21 認証登録
登録番号0007774（平成23年11月）
（登録範囲：本部・試験研究施設における環境調査、環境分析、生物調査、環境アセスメント、環境計画、環境啓発事業）
- 鹿児島県地球温暖化防止活動推進センター指定
鹿児島県指定番号指令環政第1号（平成16年6月）
- エコアクション21地域事務局かごしま認定
認定番号042（令和2年4月）※平成19年5月
- 鹿児島県認定鳥獣捕獲等事業者登録
鹿児島県第001号（平成28年2月）

有資格者

博士（理学）、技術士（環境部門）、環境計量士、公害防止管理者（ダイオキシン類・水質・大気・騒音・振動）、作業環境測定士、石綿作業主任者、建築物石綿含有建材調査者、放射線取扱主任者、危険物取扱主任者、無線従事者、小型船舶操縦士、潜水士、特別産業廃棄物管理責任者、臭気判定士、生物分類技能検定、ネイチャーゲームコーディネーター、ピオトップ施工管理士、環境省環境カウンセラー、自然観察指導員、自然体験活動トレーナー、プロジェクト・ワイルドファシリテーター、鹿児島県グリーンマスター、鹿児島県鳥獣被害対策アドバイザー ほか

環境問題の現状を把握する

環境問題解決、環境保全のためには正確な環境の現状調査が必要です。お客様のニーズに合わせた、様々な測定・調査で環境問題の現状を把握します。

環境測定調査

- 陸域環境調査
大気測定、悪臭物質測定、土壌汚染調査、騒音・振動測定、交通量調査、景観調査
- 河川、湖沼の調査
水質、底質、流量
- 海域の調査
水質、底質、潮流、波浪、漂砂



■ダム湖水質調査風景

生物調査

- 陸域
植物、ほ乳類、鳥類、両生類、は虫類、昆虫類、鳥獣被害対策
- 河川、湖沼
魚介類、水生昆虫、水草、プランクトン付着藻類
- 海域
サンゴ、藻場、プランクトン、付着生物、底生生物、魚介類、卵稚仔、砂浜生物



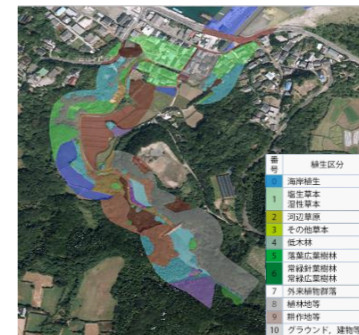
■藻場調査

よりよい環境を築く

多様化する環境問題に対応しながら質の高い環境影響評価を行います。また、環境管理計画の策定、生態系の保全対策や自然復元を行い、よりよい環境を創出します。

環境創造・計画策定・情報処理・環境アセスメント

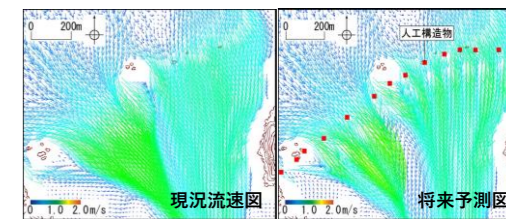
- 環境創造
多自然川づくり、ピオトップ、藻場造成、生き物とふれあう街づくり、植栽計画
- 環境保全計画策定
環境基本計画、水質環境管理計画、自然環境管理計画、廃棄物処理計画、生物多様性地域戦略、鳥獣管理計画
- 環境情報処理
GISによる情報処理
- 開発事業環境アセスメント等
港湾、ダム、河川、砂防、道路、工業団地等の各種アセスメント
- 土木建設に伴う環境監視業務等
港湾、ダム、河川、砂防、道路、工業団地等の各種監視



■GISにより作成した植生図

解析・シミュレーション

- 潮流、波浪、水質汚濁等の予測
- 漂砂、土砂堆積移動、海岸浸食の予測
- 大気、騒音、振動等の予測
- 景観予測 ●野生動物の個体群動態



■構造物による潮流変化の予測

問題の原因となる有害物質等を正確に把握する

地球環境問題の解決、持続的な環境保全、くらしの中の安全安心を確保する上で問題となる物質を正確に把握することが求められています。水・大気・土壌、食品や室内空気など多種多様な媒体中の微量な有害物質等を正確に分析します。

環境全般に対応するために

- 水質分析 地下水、海水、河川水、湖沼水、排水
- 土壌分析 陸土、水底土砂、浚渫土砂、農用地
- 大気、悪臭分析
- 産業廃棄物の分析
- 農薬、肥料、飼料などの分析
- 環境放射能分析

快適で安全な暮らしのために

- 飲料水分析 水道水、井戸水、建築物内飲料水、ミネラルウォーター等
- 温泉分析 温泉成分分析、ラドン測定、湧出量計測、公衆浴場水質検査
- シックハウス、シックスクール原因物質分析
- 吹き付け材、建材のアスベスト分析

安全・安心な食のために

- 食品中残留農薬多成分一斉分析



■液体クロマトグラフ質量分析装置（LC-MS/MS）による分析



■誘導結合プラズマ質量分析装置（ICP-MS）による分析